



| | |
|--------------|---|
| Title | 宮津における素材待遇形式ナル（2）：適用範囲と感情性待遇 |
| Author(s) | 酒井, 雅史 |
| Citation | 阪大社会言語学研究ノート. 2016, 14, p. 27-35 |
| Version Type | VoR |
| URL | https://doi.org/10.18910/55616 |
| rights | |
| Note | |

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

宮津における素材待遇形式ナル(2)

—適用範囲と感情性待遇—

酒井 雅史

【キーワード】宮津市方言、ナル、適用範囲、感情性待遇

【要旨】

本稿は、2015年度に京都府宮津市において実施した素材待遇形式ナルに関する報告である。具体的には、2014年度であげたいいくつかの課題のうち、素材待遇形式の適用範囲と感情性待遇の有無について以下のことを報告した。

- (a) 宮津市方言では感情性待遇も含めて素材待遇形式のヨルは使用されない。
- (b) 感情性待遇という点では、宮津市方言で用いられる素材待遇形式ナルにもその使用は認められない。
- (c) ナルは無生物が主語の場合や、動物が主語の場合にもほとんど使用されず、人以外の対象への適用範囲の広がりはないと考えられる。
- (d) 《非情物》《心内発話》での使用に地域差が認められるものの、全体としては宮津地区と日置地区に地域差は認められない。また、地域差にくわえて、性差、年齢差による違いもないと考えられる。

1. はじめに

本稿では、2015年度に京都府宮津市において実施した素材待遇形式ナルについての二次報告を行なう。2014年度に行なった報告では、京都府宮津市方言の素材待遇形式について次のようにまとめた。

- (A) 宮津で用いられる素材待遇形式ナルはすべての活用形を備えており、A類～C類すべての従属節において生起可能である。
- (B) ナルはほぼすべての人物を待遇するとき用いられ、対者待遇と第三者待遇での使用対象の違いはみられない。
- (C) ナルには、いわゆる身内尊敬用法が女性のみみられ、男性は第三者待遇では身内に対して敬語形式を使用しない。
- (D) 宮津で用いられる敬語形式はオイデル、(ラ)レル、ナル、テヤである。これらの形式の待遇価は、(ラ)レル>オイデル>テヤ>ナルの順に高いと考えられる。

酒井(2015b:26)

また、以上の結果に加えて、酒井(2015b)では、いくつか残された課題についても述べた。すなわち、(i) インフォーマント数を増やす、(ii) 大阪を中心とした関西方言において報告されているヨルの卑語性を含む素材待遇形式の感情性待遇による使用の有無を確認する、(iii) ナルが設定した人物以外のどのような人物に対して使用できてどのような人

物に対しては使用できないのかを明らかにする¹⁾、(iv) ナルの命令形はナハレを含む他の行為指示表現との関係において、敬語形式はどのような位置を占めるのかを調査する、(v) 宮津の敬語運用の全体像を記述するために、談話資料もあわせて使うことで実態をより詳細に明らかにする、の5点である。

以上の酒井(2015b)であげた課題のうち、本稿では、2015年度に行なった(ii)の感情性待遇の有無および、(iii)のナルの適用範囲に関する結果について報告する。また、2014年度調査では確認できなかった宮津内での地域差および性差・年齢差についても確認する。

以下、2節で調査の概要について、3節で調査結果について述べる。4節はまとめと今後の課題である。

2. 調査の概要

本節では、調査の概要について述べる。まず、2.1節でインフォーマント情報についてみたのち、2.2節で調査文を示す。

2.1. インフォーマント情報

調査は、2015年9月2日および3日に調査票を用いた面接調査を行なった。調査したインフォーマントは以下表1のとおりである。なお、MFMとMGFは、素材待遇形式に関する調査を2014年度に引き続き行なっている。

表1 インフォーマント一覧

| インフォーマント ID | 地区 | 調査時年齢 | 性別 | 外住歴 |
|-------------|----|-------|----|---------------------------|
| MBM | 宮津 | 84 | 男 | 18-22：京都市上京区 |
| MCF | 宮津 | 82 | 女 | なし |
| MEM | 宮津 | 79 | 男 | なし |
| MFM | 宮津 | 74 | 男 | 42-45：福井県小浜市、45-51：京都府亀岡市 |
| MGF | 宮津 | 74 | 女 | なし |
| MNF | 宮津 | 81 | 女 | なし |
| MOF | 宮津 | 78 | 女 | なし |
| HCM | 日置 | 84 | 男 | 23-48：宮津市(宮津地区) |
| HEM | 日置 | 74 | 男 | なし |
| HFM | 日置 | 71 | 男 | 18-19：京都府綾部市位田町 |
| HGF | 日置 | 84 | 女 | なし |
| HHF | 日置 | 80 | 女 | なし |
| HIF | 日置 | 79 | 女 | なし |
| HJF | 日置 | 73 | 女 | 18-21：京都市 |

1) 2014年度の調査では、上下・親疎・ウチソトを基準に9人の人物を待遇対象として設定した。詳細については酒井(2015b)を参照いただきたい。

2.2. 調査文

本節では、調査で用いた調査文を示す。調査文は、岸江(1998)と西尾(2006)、辻(2009)、酒井(2015a)を参考に、宮津市方言の素材待遇形式ナルの適用範囲の確認および、素材待遇形式ナル(ヨル)の感情性待遇について調べるためのものを作成した。

A. 《親愛感情》([1]～[3])と《視点同一化》([4])

- [1] 【1歳を過ぎた身内の子のことを友人に向かって】(赤ちゃん・身内・±)
「いやー上手にしゃべるわ」と言うとき、どのように言いますか。
- [2] 【1歳を過ぎた隣の家の子のことを友人に向かって】(赤ちゃん・非身内・±)
「いやー上手にしゃべるね」と言うとき、どのように言いますか。
- [3] 【1歳を過ぎた隣の家の子のことを配偶者と話しているときに話題にして】(赤ちゃん・非身内・+)
「〇〇さんのとこの子、1歳なのに上手にしゃべるよ」と言うとき、どのように言いますか。
- [4] 【兄弟の下の子に対して】
「お姉ちゃんがお風呂入るから、〇〇も一緒にはいり」と言うとき、どのように言いますか。

上記 [1]～[4] は、辻(2009)において京都方言のハルに認められる用法ある。宮津市方言にはハルの使用は認められないものの、ナルの使用対象の範囲が京都のハルと比べてどのようになっているのかを調べるため設定した。

B. 《非情物》

- [5] 【友人と買い物に行ったとき展示されている人形をみて】
「このお人形さん本当に上品な顔しているね」と言うとき、どのように言いますか。
- [6] 【友人の家に遊びに行ったとき飾られている人形を指して】
「このお人形さん本当に上品な顔しているね」と言うとき、どのように言いますか。
- [7] 【友人とバス停でバスを待っていて、遠くにバスが見えたとき】
「あ、バスが来た」と言うとき、どのように言いますか。
- [8] 【友人に対して】
「雷がなっているね」と言うとき、どのように言いますか。
- [9] 【子供に対して】
「雷がなっているね」と言うとき、どのように言いますか。
- [10] 【友人と公園に行ったときに】
「チューリップが咲いている」と言うとき、どのように言いますか。

C. 《動物》

- [11] 【友人と話しているときに】(動物・±/ー)
a. 「犬が気持ちよさそうに寝ている」と言うとき、どのように言いますか。

[12] 【友人と話しているときに】(動物・±/ー)

- a. 「あそこの犬よく吼えるね」と言うとき、どのように言いますか。
- b. うるさくて迷惑しているというニュアンスで言うときはどうですか。

[13] 【友人と話しているときに】(動物・±/ー)

「あの野良犬、何か食べている」と言うとき、どのように言いますか。

[14] 【配偶者に向かって】(動物・ー)

「ゴキブリがあっちに行ったよ」と言うとき、どのように言いますか。

(補足：ゴキブリが嫌いでない/少し嫌い/嫌い/とても嫌い)

[5] ~ [10] のB. 《非情物》と [11] ~ [14] のC. 《動物》は、宮津市方言における素材待遇形式の使用が人間以外の生物や生物以外まで使用対象の範囲が広がっているのかどうかを確かめるためのものである。なお、C 《動物》の質問項目では、西尾(2006)を参考に、話し手の対象へのマイナス感情の有無を設定し、ヨルの使用の確認、ナルの使用の可否について尋ねている。() に示した+/-/±は、+がプラス感情を持っていることを、-がマイナス感情を持っていることを、±はプラス感情もマイナス感情も持っていないことをそれぞれ表わしている。

D. 《範疇一般》

[15] 【友人を話し相手に】

「若い人は都会へ出て行く」と言うとき、どのように言いますか。

E. 《団体・機関・一般論》

[16] 【友人を話し相手に】

「あそこの旅館は年中無休で営業しているよ」と言うとき、どのように言いますか。

[17] 【友人を話し相手に】

「あの祭りは、宮津市が主催している」と言うとき、どのように言いますか。

F. 《心内発話》

[18] 【心の中で】(未知の人物・±)

「あの人道探しているのだろうか」と思うとき、心の中でどのように言いますか。

[19] 【心の中で】(知っている人物・±)

「〇〇さん(親しい近所の目上)重そうな荷物を持っているな」と思うとき、心の中でどのように言いますか。

[20] 【心の中で】(知っている人物・ー)

「〇〇さん(親しい近所の目上)また、ゴミの日違うのにゴミ出しているわ」と思うとき、心の中でどのように言いますか。

[21] 【心の中で】(身内・ー)

「お父さん、もう飲んだらダメって言ったのにお酒飲んでいるわ」と思うとき、心の中でどのように言いますか。

[15] ~ [21] のD. 《範疇一般》、E. 《団体・機関・一般論》、F. 《心内発話》は、辻

(2009)と酒井(2015a)で自然談話資料に現れた素材待遇形式の使用対象のカテゴリーをもとに調査文を作成した。D.《範疇一般》は、主語が「昔の人」や「神戸の人」などのように特定のカテゴリーに属する人物として言及されている使用対象、E.《団体・機関・一般論》は、公的団体や職業名のみで言及されている使用対象である。これらは、話し手の頭の中には特定の人物が思い浮かんでいる場合もあるが、必ずしもそうとは限らず個人名で言及されるよりも抽象性の高い使用対象であり、素材待遇形式がそのような対象の場合にも使用されるかどうかを確かめるため設定した。

G. 《マイナス感情》

[22] 【友人を話し相手に】

「あの人(目上)が、いきなり約束をキャンセルした。もう待ち合わせ場所にいるのに」と親しい友人に言う場合、どのように言いますか。

[23] 【友人を話し相手に】

「あのお医者さんが、名誉市民として表彰されたらしいよ」と親しい友人に言う場合、どのように言いますか。

[24] 【友人を話し相手に】

「あのお医者さんは、患者をあまりちゃんと看ないらしいよ」と親しい友人に言う場合、どのように言いますか。

[25] 朝刊のスポーツ欄を見ると、ファンの野球チームが勝っています。このとき、「おっ、ファンのチーム勝った」というとき、どのように言いますか。

[26] ファンのチームはここ 10 年ほど下位に低迷しているとします。あなたは半分呆れています。そのチームの試合をテレビで見えていましたが、今日は勝ちました。このとき「おっ！今日は〇〇勝った」というとき、どのように言いますか。

[27] 朝刊のスポーツ欄を見ると、嫌いな野球チームが勝っています。このとき、「ちえっ、嫌いなチーム勝った」というとき、どのように言いますか。

さいごのG.《マイナス感情》では、宮津市方言ではナルが使用されるとされる目上の人物 [22] や、社会的に地位のあると考えられる人物 [23] [24] にマイナス感情を抱くような文脈を設定した。[25] [26] [27] は、西尾(2006)で使用されている調査文で、「ファンのチーム」「嫌いなチーム」といった話し手の対象への感情が素材待遇形式の使用を左右するかどうかを調べるためのものである。

なお、すべての調査文で、①有標の素材待遇形式が使用されないφを含むほかの形式を使用するか／使用してもいいかどうかと、②複数形式の回答を得た場合、形式間の違いにくわえて、どの形式を最もよく使用するかの2点を確認しながら調査を行なった。

3. 調査結果

本節では、調査結果をみていく。調査結果の一覧をインフォーマント ID 順に並べて示したものが表2である。表中で回答結果が併記されているものは、左に第一回答、右に第二回答が来るように配置した。また、表中の()で示したものは心内発話としての回答は得られなかったがナルの使用が認められたものである。以下、本節では本報告の主な目

表 2 調査結果一覧

| インフォーマント ID | | MBM | MCF | MEM | MFM | MGF | HCM | HEM | HFM | HGF | HHF | HIF | HJF |
|-------------|------|-----|-----|------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| A | [1] | - | - | - | - | -● | - | - | - | - | - | - | - |
| | [2] | - | ● | - | ● | -● | ● | - | - | NR | -● | - | ●- |
| | [3] | - | ● | - | - | -● | ● | - | - | NR | -● | - | ● |
| | [4] | - | ● | ● | - | - | ● | - | - | - | - | - | ● |
| B | [5] | - | ● | ● | - | -● | ● | ● | - | ● | - | - | ● |
| | [6] | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ♪ | - | - | - | - | ● |
| | [7] | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | [8] | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | [9] | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| C | [10] | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | [11] | - | - | - | - | - | ● | - | - | - | - | - | - |
| | [12] | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | [13] | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | NR | - |
| D | [14] | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | NR | - |
| | [15] | - | NR | - | ● | -● | NR | -● | - | - | ● | ● | - |
| E | [16] | - | ● | ● | ● | -● | -● | - | - | -● | ● | NR | ● |
| | [17] | - | - | - | - | -● | - | - | - | ● | - | NR | - |
| F | [18] | - | ● | (●) | ● | ● | -● | -● | - | ● | ● | ● | ● |
| | [19] | -● | -● | (●) | ● | ● | -●□ | -● | - | - | ● | ● | ● |
| | [20] | ● | ● | ● | ● | ● | -● | ●♪ | - | - | - | -● | -● |
| | [21] | ● | - | (-) (●) | - | -● | ● | NR | - | - | - | -● | - |
| G | [22] | ●- | ● | ● | ● | ● | ● | -● | - | NR | ● | - | ● |
| | [23] | - | ● | ● | ● | ● | ● | ● | - | ● | ● | - | -● |
| | [24] | - | ● | ● | ● | ● | -● | ● | ● | ● | ● | ● | -● |
| | [25] | - | - | - | NR | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | [26] | - | - | - | NR | - | - | - | NR | - | - | - | - |
| | [27] | - | - | - | NR | - | - | - | NR | - | - | - | - |

【凡例】 ●:ナル、□:オイデル、♪:(ラ)レル、-:φ、NR:未調査または回答が引き出せていないもの、():心内発話としての回答が得られなかったもの

的である感情性待遇の結果について 3.1 節で述べたのち、3.2 節で《非情物》および《動物》への素材待遇形式の使用可否について扱い待遇対象の広がりを確認する。そして、さいごの 3.3 節ではインフォーマントを増やして調査を実施したため、前年度の調査では確認できなかった宮津地区と日置地区の地域差および、全体の性差・年齢差について順にみる。

3.1. 宮津市方言における感情性待遇

本節では、宮津市方言における感情性待遇の有無について表 2 をもとにみる。

表 2 から次のことがわかる。

- (a) 宮津市方言では感情性待遇も含めて素材待遇形式のヨルは使用されない。
- (b) 感情性待遇という点では、宮津市方言で用いられる素材待遇形式ナルにもその使用は認められない (G. 《マイナス感情》)。

感情性待遇を調べるための項目 [25] ~ [27] でのナルの使用は一切認められない²⁾。

- (1) おっ 阪神 カッタ。 【MGF】 / [25]
- (2) 昨日は カッタミタイ。 良かったなー 【HHF】 / [25]

2) 以下例文では、対象となる述部を下線・ゴシック体のカタカナ表記で示す。

一方、[25]～[27]と同じく感情性待遇を調べる項目の[22]～[24]では、[25]～[27]とは違い、1名を除くすべてのインフォーマントからナルの回答を得ている。マイナス感情を伴う[22][24]においてもマイナス感情を伴わない[23]と同様にナルが回答されており、設定した待遇対象が上であるためナルを使用するという回答が得られたと考えられる。したがって、宮津市方言では、好悪の感情によってナルが使用されるとは考えられない。

3.2. 《非情物》および《動物》への適用

本節では《非情物》および《動物》への素材待遇形式の使用が可能かどうかについて述べる。《非情物》および《動物》への使用は[5]と[6]に回答が偏る。同じ《非情物》である人形に対する使用だが、展示されている人形のことを述べる[5]に比べて友人の家に飾ってある人形のことを述べる場合[6]で使用が多くなることから、《非情物》まで適用範囲が広がっているというよりは、聞き手である友人の所有物であるために使用されていると考えられる。

- | | |
|-------------------------------------|--------------|
| (3) このお人形さんきれいな顔 <u>シトナルナー</u> | 【MGF】 / [5] |
| (4) あっ 可愛い顔 <u>シトルワ</u> 。ちょっと見てみよか。 | 【HHF】 / [5] |
| (5) 気持ちよさそうに <u>オネトルワー</u> 。 | 【MGF】 / [11] |
| (6) 気持ちよー <u>ネトナルナー</u> 。 | 【HCM】 / [11] |

以上のことから、ナルの適用範囲は、京都方言のハルほど広くなく、人以外の《非情物》や《動物》までは広がっていないが、聞き手への待遇を表すためには使用されることがあると思われる。このことは、[16]と[17]の回答数の違いからも言えるのではないかと考えている。すなわち、[16]と[17]はおなじ《団体・機関・一般論》のカテゴリーであるが、「旅館」と「宮津市」では、その主体が公的なものかどうかや、話し手が地域の一員と感じるかどうか、団体の規模などが異なる。話し手と聞き手にとって同じ地域内の団体としてみなされるであろう団体が主体の[16]では8例、話し手と聞き手が属する地域の団体ではあるが公的性格のある団体が主体の[17]では2例というように、ナルの使用数に違いがある。なお、聞き手への待遇を表すという点では若干の地域差が認められるが、この点については3.3節で述べる。

- (c) ナルは無生物が主語の場合や、動物が主語の場合にもほとんど使用されず、人以外の対象への適用範囲の広がりはないと考えられる（B.《非情物》およびC.《動物》）。

3.3. 適用範囲の地域差・性差・年齢差

さいごに、本節では、宮津地区と日置地区の地域差および、性差・年齢差の有無について確認する。

まず、宮津地区と日置地区ごとに集計した結果を表3に示す。

表3 ナル使用数と回答率【地域別】

| インフォーマント ID | 宮津 | | | | | 計 | 日置 | | | | | | 計 | |
|----------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| | MBM | MCF | MEM | MFM | MGF | | HCM | HEM | HFM | HGF | HHF | HIF | | HJF |
| ナル回答数 | 5 | 12 | 16 | 10 | 15 | 58 | 14 | 8 | 1 | 6 | 9 | 6 | 12 | 56 |
| 地域別ナル使用率 | 19% | 46% | 59% | 42% | 56% | 44% | 54% | 31% | 4% | 25% | 33% | 26% | 44% | 45% |

表3から、使用数・使用率はインフォーマントごとに違いがあるものの、地域ごとに見た場合、宮津地区が44%、日置地区が45%と同じ使用率をみせる。表3の結果からは、どちらの地域のほうが多く素材待遇形式を使用し、どちらの地域のほうが素材待遇形式をあまり使用しないという地域差はないことがわかる。ただし、3節で示した表2からは、《心内発話》の回答には地域差があることが窺われる。すなわち、宮津地区では心内発話であっても聞き手がいるときと同様にナルが使用されるのに比べて、日置地区では、ナルを使用するという回答が少ないという地域差がある。

つぎに、インフォーマントの性別ごとに並べ替えると表4のようになる。

表4 ナル使用数と回答率【性差】

| インフォーマント ID | 男性 | | | | | | 計 | 女性 | | | | | | 計 |
|----------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| | MBM | MEM | MFM | HCM | HEM | HFM | | MCF | MGF | HGF | HHF | HIF | HJF | |
| ナル使用数 | 5 | 16 | 10 | 14 | 8 | 1 | 54 | 12 | 15 | 6 | 9 | 6 | 12 | 60 |
| 性別ごとのナル使用率 | 19% | 59% | 42% | 54% | 31% | 4% | 35% | 46% | 56% | 25% | 33% | 26% | 44% | 39% |

2014年度調査では、身内尊敬用法においては性差が認められたが(酒井 2015b)、今回の調査結果からは、感情性待遇やナルの適用範囲の広がりについての性差は認められない。素材待遇形式の使用については、一般に女性のほうが丁寧な言い方をすることが言われるが、宮津市方言の素材待遇形式ナルの使用については、大きな性差はないと考えられる。

さいごに、調査したインフォーマントの世代間で違いがあるかどうかを確認しておく。インフォーマントの年齢順にみた場合も、地域差・性差と同様に、大きな違いはみられなかった。インフォーマントを年齢順に並べたものを表5に示しておく。

表5 ナル使用数と回答率【年齢順】

| インフォーマント ID | 宮津 | | | | | 日置 | | | | | | |
|----------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| | MBM | MCF | MEM | MGF | MFM | HCM | HGF | HHF | HIF | HEM | HJF | HFM |
| | 84 | 82 | 79 | 74 | 74 | 84 | 84 | 80 | 79 | 74 | 73 | 71 |
| ナル回答数 | 5 | 12 | 16 | 15 | 10 | 14 | 6 | 9 | 6 | 8 | 12 | 1 |
| ナル使用率 | 19% | 46% | 59% | 56% | 42% | 54% | 25% | 33% | 26% | 31% | 44% | 4% |

以上、本節では、宮津地区と日置地区の地域差および、性差・年齢差についてみた。本節で見た結果をまとめるとつぎのようになる。

- (d) [6] やF.《心内発話》での使用に地域差が認められるものの、全体としては宮津地区と日置地区に地域差は認められない(表3)。また、地域差にくわえて、性差、

年齢差による違いもないと考えられる (表4および表5)。

4. まとめと今後の課題

本稿では、宮津の素材待遇形式ナルについて行なった調査結果について報告した。本報告で述べた内容をまとめると次のようになる。

- (a) 宮津市方言では感情性待遇も含めて素材待遇形式のヨルは使用されない。
- (b) 感情性待遇という点では、宮津市方言で用いられる素材待遇形式ナルにもその使用は認められない。
- (c) ナルは無生物が主語の場合や、動物が主語の場合にもほとんど使用されず、人以外の対象への適用範囲の広がりはないと考えられる。
- (d) 《非情物》《心内発話》での使用に地域差が認められるものの、全体としては宮津地区と日置地区に地域差は認められない。また、地域差にくわえて、性差、年齢差による違いもないと考えられる。

今回の調査では、感情性待遇によるナルの使用が認められないことを確認できたことが成果の一つであると考えている。しかし、面接調査で得られる適用範囲以外の使用などを確認するためにも、談話資料を用いた分析も必要であると考えている。今後、引き続き分析を進めていきたい。

【参考文献】

- 岸江信介 (1998) 「京阪方言における親愛表現構造の枠組み」『日本語科学』3, pp.23-46, 国書刊行会.
- 酒井雅史 (2015a) 「滋賀県長浜市における素材待遇形式の運用—流動的運用とその要因—」『阪大日本語研究』27, pp.163-194, 大阪大学大学院文学研究科日本語学講座.
- (2015b) 「宮津における素材待遇形式ナル」『阪大社会言語学研究ノート』13, pp.16-27, 大阪大学大学院文学研究科社会言語学研究室.
- 辻加代子 (2009) 『「ハル」敬語考—京都語の社会言語史—』ひつじ書房.
- 西尾純二 (2006) 『マイナス待遇表現の言語行動論的研究』大阪大学博士論文.

さかい まさし (大阪大学大学院修了生)

hinamasa_2422@yahoo.co.jp